

SHOP NEWS ミュージアムグッズと刊行物の紹介
商品価格は税込みです。

「おばあちゃんちのおかってブックケース」
A5サイズ 600円

「おばあちゃんちのおかって」シリーズ5冊が入るケースです。(※本は別売り)

美濃加茂市のふるさと納税記念品に選ばれました!

「おばあちゃんちのおかってパンダナ」
3種類(おばあちゃん、お祝、漬物)
51x52.5cm 各1,300円

「墨痕に咲く」
A4判 P18 500円

みのかもかるちすとくらぶ

会員募集中

入会について

- 年会費 1,200円
お申し込みいただいた翌年の同月末日まで有効です。
- お申し込み方法
それぞれの施設に設置してある申込用紙にご記入の上、会費を添えて窓口でお申し込みください。

みなさまのご入会をお待ちしています。

こんな特典があります!!

- 美濃加茂市民ミュージアム企画展観覧料無料(会員様本人のみ)
- ミュージアムニュースの送付(年4回)
- 12月に、オリジナルグッズをプレゼント。
- 入会時に、みのかも文化の森内喫茶室「cafe ツナグ」の呈茶券をプレゼント。モーニングサービスにも使えます。
- 文化や芸術に触れる日帰り研修バスツアー等への参加。

みのかも annual 2023

会期 2023年 5月2日(四) - 4日(日)

時間 9:00 ~ 17:00 (最終日は15:00まで)

会場 みのかも文化の森 敷地内の森

観覧無料

現代美術の作家たちがみのかも文化の森に滞在して、森の中で新しい表現を考え、調査・研究をする3日間。会期中は来場者が参加できるワークショップも行います。

たわ 戯け展

展覧会名の「戯け」とは、どこかふざけた様子などをあらわす東海地方のことばで、ネガティブな物事を笑い飛ばすニュアンスを含みます。このような人と人がつながり戯れることが、ポストコロナの時代のアートに必要とされる道標のひとつではないかと考えています。昨今、地方が直面する人口減少や過疎化は文化の継承を脅かしています。今回の展覧会ではアートを通じて「行政 × 地域住民 × 外部因子」がともに未来を作り出していくことを目的としています。大正時代に建てられた古民家の「旧桜井邸」の室内外に、7人の作家が多様な素材を用いて思いを表現し空間構成していきます。

<参加作家>林 武史 / 石井 琢郎 / 宮原 嵩広 / 名倉 達也 / 川島 大幸 / 森山 泰地 / 石川 洋樹

http://tawake-sakurai.com/ ▶

会場: 旧桜井邸 (美濃加茂市伊深町 592)

会期: 2023年 4月14日(金) から 5月7日(日)の間の金土日に開催 (4月14,15,16,21,22,23,28,29,30,5月5,6,7の12日間)

時間: 10:00 - 17:00

観覧料: 無料

主催: 東京藝術大学 彫刻科第二研究室 後援: 美濃加茂市

協力: 伊深まちづくり協議会、美濃加茂市民ミュージアム

助成: 公益財団法人十六地域振興財団、公益財団法人野村財団、公益財団法人花王芸術・科学財団

Instagram Follow Me!

minokamo_bunkanomori_official

展覧会情報のほか、風景・アート・収蔵資料など、みのかも文化の森の魅力を発信していきます。

Webでも楽しもう!文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と立ち寄り、気の向くままにページを開いてみてください。そして、何かここで感じたことがあれば、それを確かめにくる展示室や現地を訪れてみてはいかがでしょうか...

文化の森HP <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることがらを事典形式で解説。

文化の森HP <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→データベース→美濃加茂事典

■ご利用のご案内

開館時間 9:00~17:00 (ただし、施設の貸出し利用は8:30~22:00まで)

休館日 月曜日 (ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館) 年末年始

【3・4・5・6月の休館日】
3月27日、4月3日、10日、17日、24日
5月1日、8日、15日、22日、29日
6月5日、12日、19日、26日

■交通

- 鉄道 JR名古屋駅から美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由、特急「ひだ」で約40分 美濃太田駅北口から徒歩約17分
- 自動車 東海環状自動車道美濃加茂ICから約5分
- あい愛バス JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(乗車時間約10分) ※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧ください。 <https://aiiai-bus.com/>

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市 蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL : 0574-28-1110
FAX : 0574-28-1104



...想いを巡らし、はじまる森...

MUSEUM NEWS みのかも文化の森
vol.109

2023年3月25日発行

森が大切にしているもの

この時期、みのかも文化の森のタワーに上ると、雪をかぶった山の峰々を彼方に望むことができます。北東には雪に煙る御嶽山、東にはどっしりとした山容の恵那山などです。この地が中部地方の自然豊かな山岳に囲まれていることを実感させる展望塔です。

「森のタワーから見える御嶽山」

Bunkanomori Special exhibition!

「子どもの時のおもひで」を読みとく展
- 津田左右吉生誕 150年 -

会期 2023年 4月8日(日) - 5月28日(日)

会期中の休館日 4月10日、17日、24日 5月1日、8日、15日、22日

会場 美濃加茂市民ミュージアム 企画展示室

観覧料 無料

歴史学者として大きな功績を残した津田左右吉(1873~1961)は、今年生誕150周年を迎えます。津田は小学校を卒業するまでの多感な少年時代を現在の美濃加茂市下米田町東柘井で過ごしました。津田は晩年になってから「子どもの時のおもひで」という文章に美濃加茂で過ごした子供時代を綴っています。「子どもの時のおもひで」では、津田少年を育んだ自然の風景、小学生時代の勉学について、そして津田自身が「やまが」と呼んだ下米田での津田家の暮らしぶりなど、さまざまな内容が語られます。津田の見ていた景色や経験が鮮やかに描かれており、津田にとって下米田で過ごした記憶は忘れがたく思い出深いものであったのだと思われます。

今回の展覧会では、津田が残した「子どもの時のおもひで」から、津田の記憶に残る情景や経験についての文章をひもとき、津田少年が接した美濃加茂の風土や小学生時代に受けた教育などが、のちに歴史学者として大成する津田にどのような影響を与えたのかを考えます。時代を超えて津田左右吉の「おもひで」が私たちに語りかける声を皆様にお届けしたいと思います。

◇協力 津田左右吉博士顕彰会

forum & event	日時	会場	内容
講演会 「刻印された故郷 —津田左右吉と下米田—」	5月14日(日) 14:00-15:30	研修室	津田左右吉の記憶に残る下米田の情景についてお話しいただきます。 ■ 講師: 早川 万年 氏 (元岐阜大学教育学部教授) ■ 参加無料 *事前申し込み不要
朗読会 「子どもの時のおもひで」	4月23日(日) 14:00~	研修室	津田の記した「子どもの時のおもひで」の朗読を行います。 ■ 参加無料 *事前申し込み不要
津田左右吉の生家見学会	4月30日(日) 14:00-15:30	津田左右吉博士記念館	幼少期に津田左右吉が暮らした生家は、現在、移築・復元され津田左右吉博士記念館となっています。家屋の作りや当時の柱などを見学し、明治時代の津田少年の暮らしに思いをはせます。 ■ 講師: 溝口 正人 氏 (名古屋大学大学院芸術工学研究科教授) ■ 定員: 20名 ■ 参加無料 要 事前申し込み 4月8日(土)~4月15日(土) *応募者多数の場合は抽選
ゆかりの地巡り	5月27日(土) 14:00-15:30	下米田町東柘井周辺 (集合は文化の森 エントランスホール)	美濃加茂市には、生家以外にも津田左右吉とゆかりの深い土地が多く残されています。「子どもの時のおもひで」にも綴られた左右吉の思い出をめぐります。 ■ 定員: 20名 ■ 参加無料 要 事前申し込み 4月8日(土)~5月7日(日) *応募者多数の場合は抽選
ミュージアムトーク	4月16日(日) 5月19日(金)	企画展示室	担当学芸員が展示室をご案内します。 2日とも ①10:00-11:00 ②13:30-14:30 *事前申し込み不要